

農事組合法人「鬼の里農園」 代表理事

新井春男さん

明日へ向かって駆ける

農業法人の経営者は語る

「私の願いは、作業員に無事故で元気に帰ってもらうことが一番。続けて農地を守り抜くこと。最後に、健全な法人経営を築くことの三つ」と話すのは、鬼伝説で有名な福知山市大江町の農事組合法人「鬼の里農園」代表理事の新井春男さん(72)。無事故が一番の願いとして挙げたのは、農作業中に重大な事故を起こしてしまっては、みんなで築いてきたものを全てなくしてしまいかねないからだ。そのため、作業時には責任者一人を配置して作業員の体調、農機の状態に目を光らせる。ヘル

作業員の安全第一に



▲ 大規模区画に整備された圃場を背にする新井さん

メットの着用は絶対。春と秋の農繁期前と年末の3回、農作業安全研修会を行う徹底ぶりだ。「鬼の里農園」がある河守地

区は、2001年に由良川の河川改修とあわせて、8集落で1区画を基本とする32畝の圃場(ほじょう)整備が完成。法人

設立の道筋もできていた。新井さんは圃場整備委員会などに加わっていただけだったが、当時の苦労を見聞きしてきた。「立派になった圃場を荒らすことなく、次代に継ぐのが私の役目だ」と話す。法人設立

を機に野菜生産にも挑んだが、河守の土壌が畑作に不適な上、人件費が賄えず、水害の影響もあって断念した。JA京都にくくの指導も受けながら試行錯誤の末、現在は水稲↓麦↓小豆の2年3作ブロックローテーションを確立し、安定経営の基礎となっている。

新井さんは「鬼の里農園の代表を任せられ不安でいっぱいだったが、理事の皆さんに助けられてきた。農業に希望が持てないと嘆くのではなく、希望はつくるもの。私の願いである三つの柱の実現し、地域農業を盛り上げていきたい」と話す。

■法人所在地 福知山市大江町波美882(電)0773(56)1233。

■法人概要 2010年4月設立。理事3人、監事2人、組合員95人。主な農作物は水稲22・7畝、麦後小豆8・4畝。農機

はトラクター4台、コンバイン3台、田植え機3台、小豆乾燥機2台、軽トラック1台。